
森羅万象

紅 譜祢

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

森羅万象

【Nコード】

N1353P

【作者名】

紅 譜祢

【あらすじ】

あらすじはとくにありません。
詩です。

全ての生きとし生けるものはこの世に生まれ、いつか死んでいく。
森羅万象、それはこの世界いや宇宙に住む全ての生き物。それらは
今、喜んでいたり、怒っていたり、哀しんでいた、楽しんでいた
りする。多種多様だ。そんな全ての生き物もこの世に生まれてしま
っては、死へという人生の終着点へ歩きだしてしまう。それはある
人間からすると絶望、ある人間からすると受け入れなければいけな
い真実。

一人の人間がこう言った「何の為に生きてる？」

一人は「そんな事聞かれても分かんない。」

一人は「人生を楽しむため」

そして一人は「死ぬため」
どれも正論だ。

《死ぬため》この一言は一番正論だろう。

この世に生まれてきたなら、死を覚悟して生きていかなければなら
ないと思う。

それはとても難しいことだ。だが、生まれてきてしまつては、避け
られない事実なのだ。それでこそ生命を大事にしなければならぬ。
それなのに、自殺や殺人という言葉を聞かない日はない。

それでも生き物は前向きに生きている。

もう一度言おう 全ての生きとし生けるものはこの世に生まれてい
つか死んでいく。

この言葉は絶望と真実をもたらした。

それこそが森羅万象だと思っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1353p/>

森羅万象

2010年11月25日20時36分発行